

ものの名前を貼りまじょう

言語

敏感期

ひらがなが少し読めるようになったら、家の中にある、あらゆるものの名称を紙に書いてそれに貼っていくという遊びをやってみましょう。

短冊状に切った紙に、家の中にあるものの名前をどんどん書いていきます。「これは何?」「いす!」「そうだね、椅子だね。ではここに「いす」と書きます」と、書くところを見せながらやるといいでしょう。

書いたらその短冊を見せて、「なんて書いてある?」と聞きます。すると、いま書いたばかりなので、完璧にひらがながわからなくても「いす!」と答えるでしょう。「正解!」と言って、その短冊を椅子にベタリと貼ります。この要領で、例えば「つくえ」「たな」「かがみ」「てれび」「れいそうこ」などと貼っていきます。「言語」の敏感期に働きかけることで、文字の読み方と、ものの名前を覚えることができます。



リビングやキッチン、子ども部屋など、場所を替えてみると、おもしろさも増します。